

川上小学校はまっ子ふれあいスクール【神奈川県横浜市】

～学校の中にあるみんなの居場所～

◆事業の目的・理念

- すべての子どもたちを対象にして、小学校施設を活用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供する（横浜市の設置目的）。
- 「体験による学び」が多様に行われ、子どもたちの主体性が自由に発揮される場。
- 高学年の児童も多く参加し、保護者や教員以外の第三の大人が関わる場である→結果、参加している子どもたちが“人まみれ”になる。
- NPO法人教育支援協会のノウハウ+地域力による多様なプログラム活動を実施。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	283日/年間	
参加人数	75人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 川上小学校の図工室、体育館、校庭など

教室の開催日

- 月・水曜日 14:30～19:00 ●火・木・金曜日 13:30～19:00
- 土曜日 8:30～19:00

参加対象者

- 川上小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 傷害見舞金制度負担金（1人500円/年）の払込票を添付し、所定の申込書に必要事項記入の上、申し込む。
- 17:00以降は月極参加料5,000円または一時参加料800円及びおやつ代の実費を徴収。活動の実費徴収あり。



「わくわくデイ」で行われた地域主催の流しそめん大会

活動内容

- 全児童対象のイベントを毎日開催
…竹とんぼ・工作教室・手話ダンス・ハンドベルなど
- 保護者会を毎月開催
…民生・児童委員による子育て勉強会・手芸をしながら情報交換など
- 毎月1回、地域・学校・はまっ子による「わくわくデイ」を開催
…平均参加人数350人超の地域+子どもたちの企画イベント
- 希望者対象の「学習プログラム」を毎日実施→高学年の参加を促す
…放課後English・おもしろサイエンス・素読暗唱・算数国語の学習（シエルパ学習）
- 教職員との児童情報の意見交換を行っている

学年	登録児童数/登録率/平均参加人数							参加数(平均)
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	
在籍児童数	59	61	55	63	54	50	342	82
登録児童数	58	61	52	55	39	32	297	
登録率	98.3%	100.0%	94.5%	87.3%	72.2%	64.0%	86.8%	

	1週間の活動例	
	放課後～17:00	17:00～19:00
月曜日	工作教室	放課後English 小3・4
火曜日	ハンドベル	放課後English 小5・6
水曜日	カバゴン塾	素読暗唱/漢字塾
木曜日	手話ダンス	放課後English 小1・2
金曜日	リズムで遊ぼう	シエルパ学習
土曜日	わくわくデイなどイベント	

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
区報や地域回覧板による公募及び現スタッフの紹介運営法人が採用
- 配置人数
登録スタッフは20名強 日々の活動への参加は4～5名 イベント時は地域の方も含め50名程度



地域の方々による大工仕事指導



素読暗唱（日本語活動）



放課後English（小学校英語活動）

事業を実施して

- 年2回開催している地域の方々や教職員、PTAとの運営評議会で活動の紹介をし、提案をいただいて、一緒に企画している。
- 毎週「学習プログラム」を実施することによって、高学年の登録・参加数が増え、異学年の交流やイベントが盛んになっている。
- 地域の方々の積極的な関わりがあり(特に父親)、地域の大人が児童を見知っていて、「地域の子どもたち」として接している。
- 子どもたちの活動を通じて、保護者と地域の方々との交流が放課後子ども教室で進み、子育ての相談なども行われている。